

## 建物概要 案内図

建設地：富山県富山市五福3190（富山大学五福キャンパス）

建築面積：1,550.76㎡

延床面積：2,385.12㎡

階数：地上2階

構造：鉄骨造

基本構想：富山大学施設企画部施設計画チーム

基本設計：富山大学施設企画部施設計画チーム  
鈴木一級建築士事務所株式会社

実施設計：松井・ピートープ設計施工共同企業体

工事監理：富山大学施設企画部施設計画チーム  
ピートープ株式会社

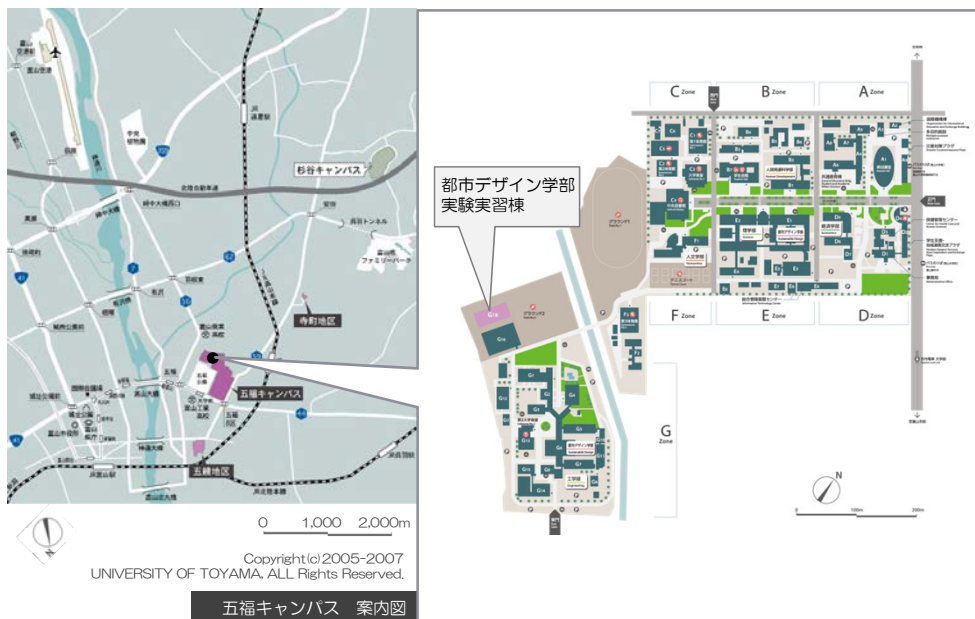
施工：松井・ピートープ設計施工共同企業体

工期：平成30年2月～平成31年2月

## 富山大学都市デザイン学部実験実習棟

Faculty of Sustainable Design Laboratory Building,  
University of Toyama

### 五福キャンパス



## コンセプト

### 透過性の高い実験実習棟の整備により『デザイン思考』を養う

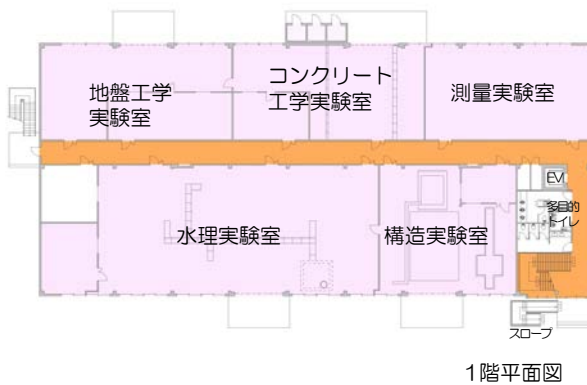
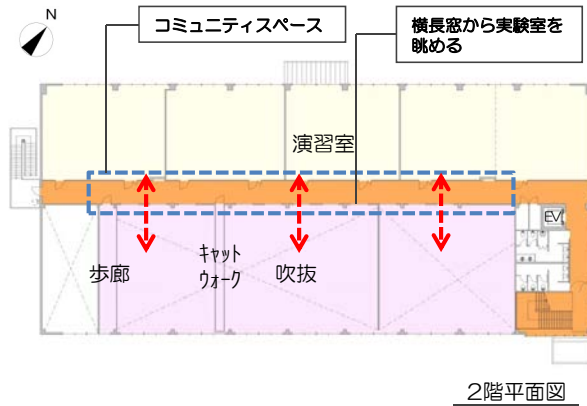
平成30年度より新たに設置した都市デザイン学部は、自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学要素を加味した「自然災害」の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造に係わる特色ある国際水準の教育・研究を行い、さらに「デザイン思考」に基づいた創造力を身につけ、問題の発見・解決のできる人材育成に取り組むものである。

本施設は、都市デザイン学部の実験実習を行う施設として「ものづくり基礎力」の育成が効果的に行われるよう、『見る』ことによる視覚学習を考慮し、学生の学修意欲の向上、循環型アクティブラーニングの実施が期待できる透過性の高い施設として計画・整備を行った。

## 平面計画

### 『実験実習エリア』と『演習室エリア』の明確なゾーニング

実験実習エリアと演習室エリアをフロア毎に明確にゾーニングとし、わかりやすい平面計画としている。ゾーニングにあたり、2階廊下は視覚学習に配慮してスペースを確保し、1階実験室を眺める横長窓を随所に設けている。また、視線をつなぐことにより多様な交流を促すコミュニティスペースとして、動線の中にも立ち止まって会話が生まれる場を創造している。



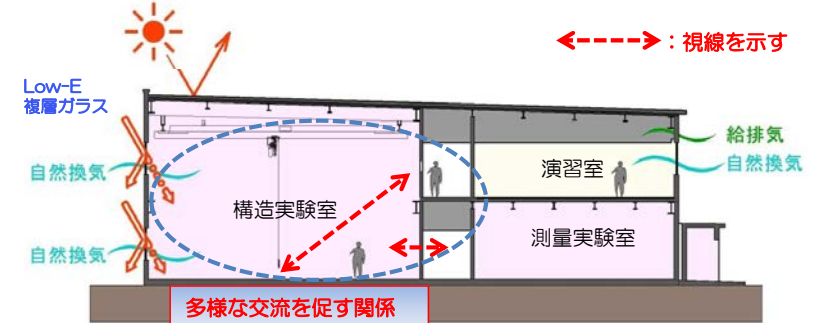
- 廊下
- 実験実習エリア
- 演習室エリア



## 断面計画

### 『実験室』を中心とした断面計画により多様な交流を促す

1階の実験室を中心とした断面計画とし、廊下から横長窓を介し実験室の様子が見えるよう、『見る』『見られる』ことの視覚的コミュニケーションの活性化、視覚学習による学生の学修意欲向上と、自立的自発的な学修を促すことを考慮して計画している。



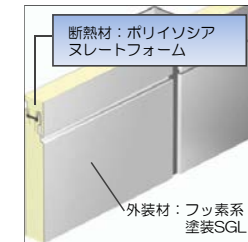
## 省エネ計画

### 環境に配慮した設計

- ・屋根：2重折板葺き（熱貫流率 $0.35W/m^2 \cdot k$ ）  
（内部グラスウール厚さ100mm、 $10kg/m^3$ 充填）
- ・外壁：断熱複合パネル厚さ35mm（熱貫流率 $0.5W/m^2 \cdot k$ ）
- ・Low-E複層ガラス（熱貫流率： $2.5W/m^2 \cdot k$ 、※単板ガラス： $6.0W/m^2 \cdot k$ ）
- ・LED照明、明るさ連続調光制御（居室等）、人感センサー照明制御（廊下・便所）
- ・全熱交換機による省エネ換気（空調負荷低減）
- ・自動水栓（節水型の採用）



屋根：2重折板葺き施工吹付状況



外壁：断熱複合パネル



## 整備効果

### デザイン思考を持った多様性のある人材育成に寄与する

- ・JABEE（日本技術者教育認定機構）をはじめとする国際的な水準の教育プログラムを実践し、グローバルな視点を持った人材育成に寄与する。
- ・教育の充実を図るための実験実習が確実にできる施設としている。
- ・エレベーター、スロープ、多目的トイレ等の設置によりバリアフリー化に対応